



家のなかでも  
電気を  
スタンバイ

アウトドアで  
できることが広がる

国産メーカーで安心!

# 一家に一台備えたい! ポータブル電源の最適解

アウトドアのお供に、さらに万が一の時の備えとして、ポータブル電源の人気の急上昇中! 数あるポータブル電源のなかでもおすすめなのが、ビクターの「BN-RF800」。安全性が高く、コンセントに挿したままで使用できるから、日常使いにもぴったりです。



挿したままで使えるから  
使い勝手が格段に違う!

VGP審査員 野村ケンジ

さまざまなポータブル電源のなかでも、大いにオススメできる一台となっているのがビクターの「BN-RF800」です。「VGP2023 SUMMER」で企画賞と金賞に輝いたこちらの製品、技術面とユーザービリティの両面から魅力を感じる製品に仕上がっているのが特徴です。まず、肝心のバッテリーにリン酸鉄系リチウムイオンを採用、従来モデルで使われていた三元系に対して約6倍となる約3000回の繰り返し充放電が可能となっていて、安全性や耐久性が格別のものとなっています。また、多くのポータブル電源が海外製なのに対し、ビクターは国内ブランドのため、規格基準が厳しく、サポートも充実しています。ほかとは違う、安心・安全に配慮した製品となっているのもうれしいポイントです。しかしながら、最大の魅力は“コンセントに挿したままでOK”ということでしょう。一般的な製品はバッテリーの劣化を防ぐため、満充電のたびにコンセントから外す必要がありますが、BN-RF800は独自の保護回路を持つため、挿したままが可能となっています。充電が終わるたびにコンセントから外す必要がなく、いざ使おうと思った時に充電不足で使えない、ということが回避できます。これだけでも使い勝手が格段に違うはずですが、3000回の充放電が可能ならつさとも相まって、アウトドアだけでなく、家のなかでも多種多様な場所で自由自在に活用することができます。電源のない場所にテレワーク用のデスクを置くことだって可能。新たなライフスタイルを提供してくれる、便利で手軽なポータブル電源です。



## VICTOR BN-RF800 ¥OPEN

SPEC ● 充電タイプ: リチウムイオン充電電池(リン酸鉄系) ● 充電容量: 806Wh 252,000mAh ● 出力: AC×3、USB Type-A×2、USB Type-C×2、DC×1 ● 外形寸法: 330W×207H×246Dmm ● 質量: 約11kg



### 長寿命で安全性の高い リン酸鉄リチウムイオン電池



リン酸鉄系リチウムイオン電池を採用。その最大のメリットは安全性が高いこと。熱分解が起こりにくいため、高温環境でも膨張や発火の危険性が少なく、安全に利用することができます。また、充放電サイクル率も高いうえ、自己放電も起こりにくいため、電力を無駄なく効率的に使用できます。

### コンセントに挿したまま! 使いたい時にすぐに使える



独自設計によって、これまではバッテリーの経年変化や事故防止のために必要だったコンセントへの抜き挿しが不要で常時接続が可能に。自動で満充電に近い状態(94%以上)を保つため、ガレージやクローゼットで保管する時でもコンセントに挿したままにしておけば、使いたい時にすぐに使うことができます。



完全ワイヤレスイヤホン/ノイズキャンセリング

## VICTOR HA-FX150T 金賞



Bluetooth  
完全ワイヤレスイヤホン/  
ノイズキャンセリング  
(1.5万円以上2万円未満)

¥OPEN

SPEC ● 通信方式: Bluetooth Ver.5.2 ● コーデック: SBC、AAC ● ドライバー構成: 6mmダイナミック型1基 ● 連続再生時間: 9時間(ケース込み21時間)※NC OFF時 ● 質量: 約4.4g(イヤホン片側)、約29.2g(充電ケース) ● 付属品: スパイラルドットProイヤークーリス(S/MS/M/ML/L)、充電用USBケーブル



### ビクタースタジオ音質監修TWSが進化

# 機能追加でパワーアップ 本格仕様EQで音も自在

スタジオエンジニアが音質を監修した完全ワイヤレスイヤホン「HA-FX150T」が、アップデートにより新機能を追加しました。注目はパラメトリックEQの実装で、エンジニア気分になりながら、音楽の魅力を深く掘り下げる楽しさを味わえます。

進化したポイント

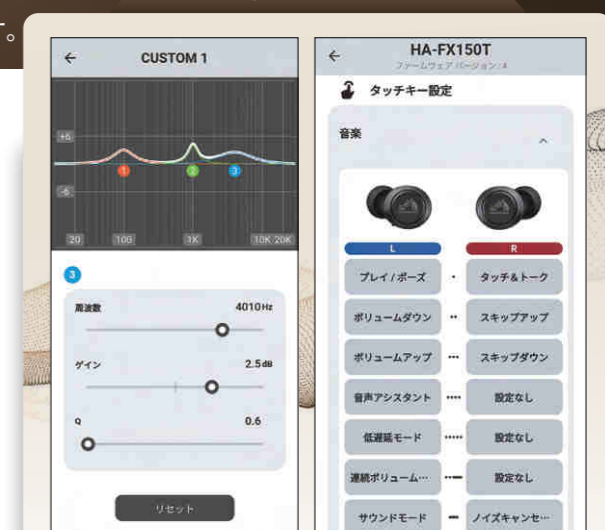


「プロの音」に触れつつ  
音楽の魅力を掘り下げられる

VGP審査員 山本 敦

2期連続でVGPアワードの金賞を受賞した本機は、ビクターのラインアップのなかだけでなく、近年発売された同価格帯の完全ワイヤレスイヤホンのなかでも特別に面白い製品です。数々の名曲が生まれるビクタースタジオのエンジニアが監修した「プロの音」に触れられるモードを備え、なおかつモバイルアプリ「Victor Headphones」のイコライザー機能を使いこなせば、本機の利用者がプロの音に迫ることもできます。本機が対応するアプリのイコライザーは、周波数とゲイン、Q値(帯域幅)を決められるパラメトリックタイプであることからカスタマイズ性がとても高く、調整した値を3件まで保存して楽しめます。エンジニア気分になりながら、いつものお気に入りの音楽の魅力を深く掘り下げる楽しさは、このイヤホンでしか味わえません。

今春にビクターは本機に新しい機能を追加するアップデートを行いました。先に触れたカスタマイズ機能のほか、イヤホンのタッチキー操作をユーザーが覚えやすいように設定し直したり、ハンズフリー通話時に自分の声の“返し”を聞きながら自然な会話ができるサイドトーンの機能などが新たに加わっています。外音取り込みは音楽の音量とのバランス調整も可能になりました。音楽制作と音響機器、両方のファンに長く寄り添ってきたビクターらしい心配りを感じる進化です。筆者は本機の、真つ向勝負の姿勢で「原音探究」を追求するリアリティに富んだサウンドが好きです。どんな音楽にも合う、本機の“いい音”をぜひ楽しんでください。



パラメトリックEQで  
音を自在に操れる

アップデートにより、アプリでパラメトリックタイプのカスタムイコライザーが利用できるようになりました。ブースト/カット(増減)するポイント(周波数)を自由に設定でき、その増減の幅の広さ(Q)と増減の大きさ(ゲイン)をコントロールすることで、音質を自由に調整することができます。

タッチキーの割り当ても  
自分仕様に変えられる

タッチキーの操作カスタマイズも可能に。プレイ/ポーズやボリュームのアップ/ダウンなどの基本操作から、ノイズキャンセリングやサウンドモードの切り替えまで、利き手などに応じて自由に割り当てられるようになりました。音楽リスニング(両耳/片耳)および通話時(両耳/片耳)という4つのシーンごとに割り当てを設定できるのも魅力です。